

法務委員会

委員一覧 (20名)

委員長	松	あきら (公明)	平田	健二 (民主)	森	まさこ (自民)
理事	今野	東 (民主)	前川	清成 (民主)	山崎	正昭 (自民)
理事	松岡	徹 (民主)	牧山	ひろえ (民主)	仁比	聡平 (共産)
理事	松村	龍二 (自民)	築瀬	進 (民主)	福島	みずほ (社民)
理事	風間	昶 (公明)	青木	幹雄 (自民)	江田	五月 (無)
	石井	一 (民主)	浅野	勝人 (自民)	山東	昭子 (無)
	中村	哲治 (民主)	丸山	和也 (自民)		(22.2.16 現在)

(1) 審議概観

第174回国会において本委員会に付託された法律案は、内閣提出4件であり、いずれも可決した。

また、本委員会付託の請願22種類150件は、いずれも審査未了となった。

〔法律案の審査〕

民事関係 民事訴訟法及び民事保全法の一部を改正する法律案は、国際的な経済活動に伴う民事紛争の適正かつ迅速な解決を図るため、国際的な要素を有する財産権上の訴え及び保全命令事件に関して日本の裁判所が管轄権を有する場合等について定めようとするものである。

委員会においては、管轄合意条約批准に向けた取組、消費者の権利保護に配慮した特則、国際裁判管轄に関する合意の効力、非訟事件を対象外としている理由等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

なお、本法律案は6月2日の本会議の議事日程とされたが、同日は会議を開くに至らず、その後、本会議に上程されなかった。

刑事関係 刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律案は、近年における人を死亡さ

せた犯罪をめぐる諸事情にかんがみ、これらの犯罪に対する適正な公訴権の行使を図るため、これらの犯罪のうち法定刑に死刑が定められているものについて公訴時効の対象から除外するとともに、これらの犯罪のうち法定刑に懲役又は禁錮が定められているものについて公訴時効の期間を延長するほか、刑の時効について改めようとするものである。

委員会においては、公訴時効の趣旨及び存在理由、現に時効が進行中の事件に対する適用の可否、公訴時効廃止・延長が捜査に及ぼす影響、性犯罪の罰則及び公訴時効の見直しの必要性、えん罪防止の必要性等について質疑を行うとともに、参考人からの意見聴取を行った。質疑を終わり討論の後、多数をもって可決された。なお、附帯決議が付された。

国際受刑者移送法の一部を改正する法律案は、受刑者の移送について、現行の欧州評議会の「刑を言い渡された者の移送に関する条約」に基づくものに限らず、「刑を言い渡された者の移送及び刑の執行における協力に関する日本国とタイ王国との間の条約」その他の今後我が国が締結する受刑

者移送に関する条約に基づいて行うことができるようにするため所要の改正を行おうとするものである。

委員会においては、これまでの国際受刑者移送の実績、中国等非締結国との条約締結に向けた今後の取組み、国際受刑者数の推移及び受入移送が増えない理由、タイとの二国間条約において条約の通知が努力義務となった理由等について質疑が行われ、全会一致をもって可決された。

このほか、**裁判所職員定員法の一部を改正する法律案**が可決された。

〔国政調査等〕

2月16日、出入国管理行政及び矯正行政に関する実情調査のため、東日本入国管理センター及び茨城農芸学院の視察を行った。

3月11日、法務行政の基本方針について千葉法務大臣から所信を聴取した。

3月16日、法務及び司法行政等に関する質疑を行い、政権交代後の出入国管理行政に対する法務大臣の見解、今日における部

落問題の解決に対する法務大臣の見解、大臣所信における「国民のいのちと生活を守るための基盤づくり」の意味、検視支援装置の今後の導入予定、外国人研修・技能実習生への不適正行為への対応等が取り上げられた。

3月19日、予算委員会から委嘱された平成22年度法務省予算等の審査を行い、少年事件における国選付添人制度に対する総括的な所見、取調べの可視化のみならず刑事司法の在り方全般について検討する必要性、死刑に対する法務大臣の基本的な見解を明確に示す必要性、法テラスに対する国民の認知の現状及び他機関との連携状況、日本の死因究明制度の改革の必要性、PFI刑務所事業による過剰収容の解消及び規制改革の効果等についての質疑を行った。

5月27日、改正後の国籍法の施行状況に関する件について政府参考人から報告を聴いた。

(2) 委員会経過

○平成22年2月16日(火) (第1回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 法務及び司法行政等に関する調査を行うことを決定した。

○平成22年3月11日(木) (第2回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 法務行政の基本方針に関する件について千葉法務大臣から所信を聴いた。
- 平成22年度法務省及び裁判所関係予算に関する件について加藤法務副大臣及び最高裁判所当局から説明を聴いた。

○平成22年3月16日(火) (第3回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 法務行政の基本方針に関する件について千葉法務大臣、中井国家公安委員会委員長、加藤法務副大臣、足立厚生労働大臣政務官、政府参考人及び最高裁判所当局に対し質疑を行った。

〔質疑者〕

今野東君(民主)、松岡徹君(民主)、松村龍二君(自民)、森まさこ君(自民)、風間昶君(公明)、仁比聡平君(共産)

○平成22年3月18日(木) (第4回)

- 裁判所職員定員法の一部を改正する法律案

(閣法第4号)(衆議院送付)について千葉法務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成22年3月19日(金)(第5回)

- 平成二十二年度一般会計予算(衆議院送付)
- 平成二十二年度特別会計予算(衆議院送付)
- 平成二十二年度政府関係機関予算(衆議院送付)

(裁判所所管及び法務省所管)について千葉法務大臣、加藤法務副大臣、榛葉防衛副大臣、足立厚生労働大臣政務官及び中村法務大臣政務官に対し質疑を行った。

[質疑者]

丸山和也君(自民)、風間昶君(公明)、仁比聡平君(共産)

本委員会における委嘱審査は終了した。

○平成22年3月25日(木)(第6回)

- 裁判所職員定員法の一部を改正する法律案(閣法第4号)(衆議院送付)について千葉法務大臣及び最高裁判所当局に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

松岡徹君(民主)、丸山和也君(自民)、風間昶君(公明)、仁比聡平君(共産)

(閣法第4号)

賛成会派 民主、自民、公明、共産

反対会派 なし

欠席会派 社民、無

○平成22年4月1日(木)(第7回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律案(閣法第53号)について千葉法務大臣から趣旨説明を聴いた。

また、同法律案について参考人の出席を求めることを決定した。

○平成22年4月6日(火)(第8回)

- 刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律案(閣法第53号)について千葉法務大臣、中井国家公安委員会委員長、加藤法務副大臣及び泉内閣府大臣政務官に対し質疑を行った。

[質疑者]

松野信夫君(民主)、松岡徹君(民主)、古川俊治君(自民)、森まさこ君(自民)、風間昶君(公明)、仁比聡平君(共産)

○平成22年4月8日(木)(第9回)

- 刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律案(閣法第53号)について次の参考人から意見を聴いた後、各参考人に対し質疑を行った。

[参考人]

中央大学法科大学院・法学部教授 椎橋隆幸君

日本弁護士連合会前副会長

弁護士 細井士夫君

全国犯罪被害者の会(あすの会)代表幹事 弁護士 岡村勲君

被害者と司法を考える会代表 片山徒有君

[質疑者]

今野東君(民主)、丸山和也君(自民)、風間昶君(公明)、仁比聡平君(共産)

○平成22年4月13日(火)(第10回)

- 刑法及び刑事訴訟法の一部を改正する法律案(閣法第53号)について千葉法務大臣、中井国家公安委員会委員長、加藤法務副大臣、泉内閣府大臣政務官及び最高裁判所当局に対し質疑を行い、討論の後、可決した。

[質疑者]

松岡徹君(民主)、丸山和也君(自民)、風間昶君(公明)、仁比聡平君(共産)

(閣法第53号)

賛成会派 民主、自民、公明、社民

反対会派 共産

欠席会派 無

なお、附帯決議を行った。

○平成22年4月15日(木)(第11回)

- 国際受刑者移送法の一部を改正する法律案(閣法第33号)(衆議院送付)について千葉法務大臣から趣旨説明を聴いた。

○平成22年4月22日(木)(第12回)

- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 国際受刑者移送法の一部を改正する法律案(閣法第33号)(衆議院送付)について千葉法務大臣、吉良外務大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行った後、可決した。

[質疑者]

今野東君(民主)、浅野勝人君(自民)、風間昶君(公明)、仁比聡平君(共産)

(閣法第33号)

賛成会派 民主、自民、公明、共産、社民
反対会派 なし
欠席会派 無

○平成22年5月27日(木) (第13回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 民事訴訟法及び民事保全法の一部を改正する法律案（閣法第34号）（衆議院送付）について千葉法務大臣から趣旨説明を聴いた。
- 政府参考人の出席を求めることを決定した。
- 改正後の国籍法の施行状況に関する件について政府参考人から報告を聴いた。

○平成22年6月1日(火) (第14回)

- 理事の補欠選任を行った。
- 民事訴訟法及び民事保全法の一部を改正する法律案（閣法第34号）（衆議院送付）について千葉法務大臣に対し質疑を行った後、可決した。

〔質疑者〕

森まさこ君（自民）、丸山和也君（自民）、
風間昶君（公明）、仁比聡平君（共産）

（閣法第34号）

賛成会派 民主、自民、公明、共産
反対会派 なし
欠席会派 社民、無